

## 第15回 島田療育センター公開シンポジウム

## 地域で共に生きる

## ～重度の心身障害のある方への地域支援～

公開シンポジウム事務局 支援部次長 山本 秀二

厚生労働省は住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく暮らしていけるよう、地域の包括的な支援サービス提供体制の構築を推進しており、高齢者だけでなく障害の重い方もその対象の中に含まれています。しかし、障害が重い方の場合、地域で暮らしていくことは決してたやすいことではありません。そこで、重い障害を持つ方々が地域の中で自分らしく暮らしていくためにはどうしたらよいか、皆様と共に考えるシンポジウムを企画させていただきました。

基調講演は社会福祉法人むそうの戸枝陽基さんです。「前例がないことを行政はなかなか認めてくれない、ならば、前例を作ってしまう方がいい」との考えから、東北の震災地にトレーラーハウスの福祉事務所を立ち上げられた、とてもパワフルな方です。施設等を運営するためには一つの制度だけでは勝負ができないのでいくつかの制度を併用していくこと、障害の専門ではない領域からもたくさんの人材を発掘し、人を「育てる」という視点を大切にすることなど、たくさんのお話を教えました。また、「障害が軽度な方でも将来は医療的な面で重症化するかもしれないのだから、重度の人のことから考えていかなければ福祉サービスはうまく立ち行かない」とおっしゃっていた言葉が非常に印象的でした。戸枝先生の話は全てが実体験に基づいたお話で、非常に納得のいくことばかりでした。

次に、町田市にある花の郷の看護師である関根まき子さんからは、顔の見える関係を生活介護事業所から積極的に構築していくことが大切であるとご提案くださいました。

多摩市にある自立ステーションつばさに通わ

れている杉山公介さんは、iPadでコミュニケーションをとるための練習と自立に向けてがんばっている姿をお伝えくださいました。また、お母様の杉山佳子様は、たくさんの人との触れ合いを通し様々な形で世の中に貢献している公介さんを見て、公介さんのお名前に込めた「世の中の役に立つ人になってほしい」というお母様の願いを叶えつつあることを実感しているとお話しくださいました。

当センター医務部副部長の大瀧は医師の立場から、障害を持つご本人だけでなく、そこで一緒に生活している家族みなを支えることができるような在宅支援を当センターで行っていきたくと熱く語りました。

最後に当センター副院長の有本から、私たちの前に困難な壁が立ち塞がったとしても、障害のある方の可能性を信じ、支援者同士が顔の見える関係を創っていくことで、前に進んでいくことができるはずとまとめました。この地域で生きていきたいという方々の想いに応えていくためのたくさんの方の知恵と勇気とパワーをいただいたシンポジウムでした。ご協力くださった皆様に厚く御礼申し上げます。



関根 まき子氏

社会福祉法人ボウ・すみれ  
福祉会 花の郷 看護師

杉山 佳子様

保護者



杉山 公介氏

自立ステーションつばさ 会員



大瀧 潮

島田療育センター  
医務部副部長  
小児科長

# ご寄付/ご寄贈の報告

(敬称略・順不同)

(平成27年4月1日～平成28年2月5日現在)



ご寄贈

ご寄付

東京都清涼飲料共同組合 / 東京清涼飲料水工業組合 / 光塩女子学院幼稚園奉仕グループ / 平久井信子 / 京浜商事株式会社 / 有限会社NSPドクター / 株式会社ミリオンインターナショナル / 結城商事株式会社 / カーサプラスワン株式会社 / NEXUS株式会社 / 株式会社コメット / 浅草遊技場組合 / 青梅遊技場組合 / ソニー生命株式会社 高野尚 / 東京都遊技場組合連合会 / 有限会社PBS / 小田精一 / ミリー / 株式会社アリストプロ / 碑文谷遊技業組合 / 美容室カポーティ 関政美 / 稲葉憲司 / 結城商事株式会社 / 飯田雅夫 / 一般社団法人東京馬主教会 / 株式会社不二家 首都圏統括部 神奈川支店 / 島田療育センター父母会 河島洋征 / 島田療育センター5病棟父母会 / キリングroup労働組合協議会 / 地域ぐるネット関東

明治大学付属中野中学校・高等学校 / 島田療育センターを守る会 / 斉藤政利 / 巣鴨遊技場組合 / 戸張捷 / テレサ・ルー / 黒住教東京大協会所婦人会 / 渡辺幸子 / 風長閑 代表者 大内勝代 / 東京高輪ライオンズクラブ / 内田久仁子 / 落合自治連合会 / 大瀧潮 / レデックス株式会社 / 都遊連第十ブロック協議会 / 株式会社クリエイティブオフィス / 川村義肢株式会社 / 荻野配送株式会社 / 株式会社完山金属 代表取締役 完山一範 / 馬場真由美 / 小池武則 / たつみや商事株式会社 代表取締役 増田克哉 / 有限会社ヤマシン工業 代表取締役 山田新一 / 有限会社磊圃 代表取締役 西村昌孝 / 株式会社ヤマガタ鉄筋 代表取締役 山形栄造 / 有限会社向陽 代表取締役 松島保 / 有限会社仲居 代表取締役 林伸彦 / 有限会社ルアク商事 / 有限会社ニシノトレード 代表取締役 西野貢右 / 中村青史 / 今野美子 / 東京八王子高尾ライオンズクラブ / 恵泉女学園中学・高等学校 / 税理士法人 古田土会計 / 工房ジャルデニエール 鍋谷谷子 / エース株式会社 / 和田百合子 / オザキエンタープライズ株式会社 / 株式会社GSディベロップメント 代表取締役 徳山真樹 / 株式会社スペースビルド 代表取締役 加藤進 / 株式会社中野サクセッション 代表取締役 中野健史 / 出口博俊 / 株式会社レッツクリエーション / 株式会社ジー・ピー・アセット / 飯沼しず子 / 戸堀信吾 / 本村佳子 / 小川進一 / 株式会社ティ・エム・シー / 株式会社ペンシル / 高橋信 / 株式会社ブッシュクロフィード 代表取締役 萩原達弥 / 株式会社二期 代表取締役 奥村茂和 / 司法書士鈴木禮臣事務所 鈴木禮臣 / 株式会社内田直之建築設計事務所 内田直之 / K2運送 代表 菅野勝仁 / 井津元奏真 / 有限会社イッケン / 田村徹 / 後援会基金会員 / 賛助会 法人会員 / 賛助会 個人会員

平成27年度全国重症心身  
障害児者施設職員研修会

## 施設管理研究会

事務部次長 森久保 真由美

大阪 山西福祉記念会館にて「マイナンバー」「ストレスチェック」「新会計基準」を中心に議論

平成28年1月20日(水)～22日(金)の3日間、大阪の山西福祉記念会館にて「施設管理研究会」が開催され、島田療育センターからは2名出席致しました。今年度の開催は中国、四国ブロックが担当し、97施設207名の参加となりました。当日は雪の影響で新幹線に遅れが出たものの、会議は15分だけの遅れで無事に開催致しました。

初めに、日本重症心身障害福祉協会の木実谷理事長から挨拶がありました。「措置の時代から障害者総合支援法に変わり、私達の置かれている環境は大きく変化してきており、生き残る為には、行政の情報収集やそれを踏まえた事務からの発信が非常に重要となり、これからは『事務力』が問われる時代になってきた」との

お話をいただき、身の引き締まる思いがしました。

全日程3日間の内、1日目と2日目前半が全体研修で「障害児支援の動向」や「見えないから見たもの」「重症心身障害児・者の療育の今後を考える」「誰でもわかるマイナンバー制度」の講義を受けました。2日目後半と3日目は分科会として、事務長・会計・庶務総務グループに分かれ、それぞれのテーマに沿って議論が行われました。

今回はマイナンバー対応やストレスチェック、新会計基準など新たな法律に基づく議論が多く、他の施設の進捗具合や状況が把握できた有意義な時間となりました。

島田療育センターへの ～想い～

## 島田を支える力

事務部庶務科 会計担当主任 鈴木 重美

### 就職したきっかけ

前職在職中に、もっと視野を広げたい思いがあり、最寄りのハローワークへ情報閲覧に行きました。当時は、同業種・同職種ばかり目に留まっていた私でしたが、そんな中、応募受付担当の方に一枚の求人票を手渡されました。それが、島田療育センター会計事務員募集でした。

今まで福祉関係に関わる機会がなく、重症心身障害児・者施設はどんな所なのか全くと言っていいほどイメージが湧きませんでした。まずは、島田療育センターを知る事からはじめようと思い、インターネット検索をし、イメージを膨らませました。当時は「島田療育園」と呼ばれ、日本で最初の重症心身障害児・者施設であり、そこから島田療育センターの今があることを知りました。そして、その当時の方々の志にいたく感銘を受けました。

私はこれまで、税理士補助及び一般企業の財務管理に携わってきました。福祉会計は全く無知でしたので、正直な気持ち不安がたくさんありました。新しい世界に飛び込むことは、たくさんの方々のエネルギーが必要です。視野を広げたいならば今しか出来ない！と考え、チャレンジの意志が強く固まり、今に至っております。

### 今の職種を選んだきっかけ

子どもの頃、母の帳簿をつけている姿に憧れていました。そろばんを弾く音が好きで、おも

ちやのそろばんを買ってもらい遊んでいました。おこづかい帳を手渡され母からつけ方を習い、母と同じことをしている喜びと楽しさがありました。

高校生の時、親戚の会計事務所で簡単な入力作業のお手伝いをしました。そこで簿記会計について興味を持ち、基礎から勉強を始めました。初めは簡単なようでも奥が深く、勉強が進むにつれどっぴりと簿記会計にはまっていきました。

就職には様々な業種に携われる会計事務所を選びました。毎日が勉強なので遣り甲斐があり、私は好きな職種です。

### 今の仕事に対する想い

現在、私は島田の会計に携わっています。事務職は陰で支える仕事ですが、取組み次第ではなかなか遣り甲斐のある仕事だと思っています。昨年は旧会計基準から新会計基準の移行に取り組み、新しい会計をスタートしました。現在は法人全体の財務状況を明らかにし、経営分析を可能にしていくことに日々奮闘しています。

社会福祉法人会計に求められていることは、法人全体の財務状況を明らかにし、経営分析を可能にしていくことだと思います。国会では改正社会福祉法平成29年4月実施案など制度見直しが行われています。現在、いろいろと変わりつつある社会福祉法人ですが、島田療育センターには、共に人生を歩む方々が大勢います。共に歩むだけでなく、その道を作る仕事もしていしつつ、社会福祉により大きく貢献できる島田療育センターに少しでもお役に立てればと考えています。

株式会社 **プリンセススクウェア** 様より 約 **600万円** のご寄付

株式会社プリンセススクウェア様が、昨年12月7日にチャリティパーティーを主催なさり、その中で島田療育センターへのご寄付を目的としたチャリティオークションを開催してくださいました。パーティー当日は、当センターの理事長、院長、事務次長も参加させていただきました。

集められた寄付金金額は、6,147,234円にのぼり、23組もの会社・個人の方々よりオー

クシオンを通してご寄付いただきました。

1月29日(金)に、同会社の代表取締役でいらっしゃる出口様と社員2名の方が、当センターまでお持ちくださいました。毎年のご厚意、そしてプリンセススクウェア様始めチャリティオークションへご協力いただきました方々に深く感謝いたします。

(事務員 岸水 美知恵)

## ちよつとひと息

車。単なる移動手段ではなく、趣味としての存在意義もある。数年前から購入したいと思う車がマツダのロードスター、初代NA。魅力を簡単に紹介したい。

一つ目はやはりオープンカーであること。試乗したこともあるが、その解放感は半端ではない。二つ目は、リトラクタブルヘッドライト。普段は閉じていて、ライトを点灯するときだけパカッと開く。カエルの目みたいでとても愛嬌がある。三つめはシートが2コしかないこと。利便性ばかりが車の魅力ではない。運転の楽しさに特化したものがあってもよいと改めて思う。



最近、若者の車離れなどと言われるが、車でしか見られない景色もある。今のうちにクルマを楽しみたい。もちろん、安全運転で。

(理学療法士 中村 権太郎)

## 島田の動きあれこれ

- ◆第15回 公開シンポジウム 記事掲載  
2月7日(日)に行われました。
- ◆医療安全講習会  
2月22日(月)に行われました。

## 2月のほっと

今月のテーマは 「冬から春へ」



## 3月 行事予定



(○数字は病棟名)

- 3日(木) CAPP (動物とのふれあい活動)
- 9日(水) ドライブ 町田りす園②
- 10日(木) ドライブ 府中市郷土の森⑥
- 12日(土) 誕生会
- 15日(火) 小遠足 多摩動物公園①
- 16日(水) ドライブ 多摩センター③
- 18日(金) ドライブ 多摩センター⑦
- 22日(火) 小遠足 多摩動物公園⑦
- 23日(水) 小遠足 多摩センター②
- 24日(木) ドライブ 花の家(町田市)⑤
- 25日(金) 小遠足 昭和記念公園⑥
- 28日(月) ドライブ 宝野公園①
- 30日(水) 小遠足 よみうりランド⑤
- 31日(木) 小遠足 多摩動物公園③

## 入退所 状況

| 平成 28年 1月 | 入所  | 退所  |
|-----------|-----|-----|
| 長期        | 0名  | 0名  |
| 短期        | 19名 | 18名 |
| 緊急一時      | 27名 | 26名 |
| 医療緊急      | 1名  | 1名  |

## お知らせ

### ◆イベント情報メールマガジン

島田療育センターで行われている各種イベントの情報をメールマガジン形式でお知らせします。



ホームページまたは右のQRコードから空メールを送ってご登録ください。

### 隔月発行のお知らせ

島田療育センターニュースは、第258号(平成28年4月1日号)より隔月の発行となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会  
**島田療育センター**

住所 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <http://www.shimada-ryoiku.or.jp>